

令和七年度 熊本県立大学 文学部 日本語日本文学科
一般選抜試験問題（前期日程） 国語 出題意図

【一】（現代文）

土地の記憶（歴史）と現在とのつながりについて考察し、それが人間や物質の存在・非存在の問題にまで及ぶ大きな想像力を正確に捉えることができるかを測る。提出をお願いします。

【二】（古文〔文法〕）

問一から四では文語文法の正確な知識を確認し、とくに三、四では知識を正しく説明する力を見る。問五では意味の取りやすい明治の文語文を読み、文章の正しい理解に基づいて必要な言葉を過不足なく選び取ることのできる慎重さ、精密さと集中力を見る。難易度は高いが文語文に対する習熟度ををはかることができ、古典文学への関心がある学生の獲得につながる可能性がある。

【三】（古文〔読解〕）

日本語日本文学科での学修及び研究遂行のために必要となる、古典文学に関わる基礎的事項を問う。言語の歴史的展開や修辞技法等、古典の基本知識を身につけており、文脈を正しく読み取れるかどうか、また、本文の内容を理解し、自分のことばで説明できるかどうかを確認する。加えて、言語文化に関する理解を問うため、文学史の問題を出題する。

【四】（漢文）

基本的な漢字の読みの修得、文脈を正しく理解した上で訓読ができ、あるいはそれを正確に現代日本語に翻訳する能力を問う。